

2020年3月期 第2四半期(中間期)決算短信[日本基準](連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社 四国銀行

上場取引所

東

コード番号 8387 URL https://www.shikokubank.co.jp/

代表者 (役職名)取締役頭取

) 取締役頭取 (氏名) 山元 文明

問合せ先責任者(役職名)総合企画部長 (氏名)伊東 瑞文 TEL 088-823-2111

四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 2019年12月6日

特定取引勘定設置の有無 無

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

1. 2020年0月3月372日午3月(中国3月)07年间未順(2010年4月)1日 2010年

(%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収	な益	経常和	J益	親会社株主に帰属	する中間純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期中間期	20,920	△5.1	4,361	△23.3	3,302	△17.3
2019年3月期中間期	22,053	△7.6	5,686	△22.2	3,997	△9.9

(注)包括利益 2020年3月期中間期 5,274百万円 (57.1%) 2019年3月期中間期 3,355百万円 (△64.2%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純 利益
	円銭	円 銭
2020年3月期中間期	77.80	77.64
2019年3月期中間期	93.44	93.17

(2) 連結財政状態

(1) 連結経営成績

	総資産	総資産 純資産	
	百万円	百万円	%
2020年3月期中間期	2,996,688	152,711	5.0
2019年3月期	3,078,883	148,041	4.8

(参考)自己資本

2020年3月期中間期 152,480百万円

2019年3月期 147,811百万円

2. 配当の状況

		年間配当金					
	第1四半期末	第1四半期末 第2四半期末 第3四半期末 期末 合計					
	円銭	円 銭	円銭	円 銭	円銭		
2019年3月期	_	20.00	_	15.00	35.00		
2020年3月期	_	15.00					
2020年3月期(予想)			<u> </u>	15.00	30.00		

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)配当金の内訳 2019年3月期第2四半期末 記念配当5円00銭

3. 2020年 3月期の連結業績予想(2019年 4月 1日~2020年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	(70数小战、万前别名版十/						
	経常収	八益	経常利益		親会社株主に帰属する当期 純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	39,300	△13.1	5,300	△44.7	4,000	△35.7	94.21

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

⁽注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計ー期末新株予約権ー期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。 なお、本「自己資本比率」は自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

※ 注記事項

(1) 当中間期における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名) 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

4 修正再表示

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 2

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2020年3月期中間期	42,900,000 株	2019年3月期	42,900,000 株
2020年3月期中間期	427,285 株	2019年3月期	464,572 株
2020年3月期中間期	42,445,996 株	2019年3月期中間期	42,778,585 株

(個別業績の概要)

1. 2020年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期中間期	21,051	△6.2	4,391	△26.9	3,408	△22.3
2019年3月期中間期	22,455	△5.6	6,010	△14.8	4,387	2.9

	1株当たり中間純利益
	円 銭
2020年3月期中間期	80.07
2019年3月期中間期	102.27

(2) 個別財政状態

	総資産純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期中間期	2,994,709	148,284	4.9
2019年3月期	3,077,106	143,602	4.6

(参考)自己資本

2020年3月期中間期 148,184百万円

2019年3月期 143,502百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計ー期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。 なお、本「自己資本比率」は自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 2020年 3月期の個別業績予想(2019年 4月 1日~2020年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収	(益	経常和	川益	当期純	利益	1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	39,300	△13.5	5,100	△46.7	4,000	△37.1	93.93

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1. 当行は、特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社)に該当するため、第2四半期会計期間につい ては、中間連結財務諸表及び中間財務諸表を作成しております。
- 2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、 当行としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

		頁
1.当中間決算に関する定性的情報	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	•••••	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記		3
(1) 中間連結貸借対照表	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	4
中間連結損益計算書	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	4
中間連結包括利益計算書	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	5
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	6
(4)継続企業の前提に関する注記	•••••	7
3. 中間財務諸表		8
(1) 中間貸借対照表	•••••	8
(2) 中間損益計算書	••••	10
(3) 中間株主資本等変動計算書		11

≪2020年3月期 第2四半期(中間期)決算説明資料≫

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当中間期の連結経営成績は、以下のとおりとなりました。

経常収益は、役務取引等収益や償却債権取立益は増加しましたが、有価証券利息配当金の減少等により、前年同期比11億33百万円減少し209億20百万円となりました。経常費用は前年同期比1億91百万円増加し165億58百万円となったため、経常利益は同13億25百万円減少し43億61百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は同6億95百万円減少し33億2百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

主要勘定につきましては、預金は、法人預金を中心に減少し、前年度末比401億円減少し2兆6,017億円となりました。また譲渡性預金を含めた預金等は、前年度末比847億円減少し2兆6,362億円となりました。貸出金は、個人向け貸出金は増加しましたが、地方公共団体向け貸出金等の減少により、前年度末比193億円減少し1兆7,548億円となりました。有価証券は、地方債の購入等により、前年度末比219億円増加し8,379億円となりました。

当中間期末の連結自己資本比率 (国内基準) につきましては、前年度末比0.15 ポイント上昇し、9.58% となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2020年3月期通期の業績予想につきましては、当中間期の業績が当初予想を上回りましたが、今後の市場環境や経済情勢の見通しが不透明であることから、現時点においては2019年5月13日公表の予想数値を据え置きます。今後、業績予想の修正が必要になった場合には速やかに公表いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当中間連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
現金預け金	347, 155	254, 912
コールローン及び買入手形	3, 274	5, 726
買入金銭債権	14, 415	11, 178
商品有価証券	5	5
金銭の信託	1,000	1, 103
有価証券	815, 978	837, 919
貸出金	1, 774, 192	1, 754, 808
外国為替	8, 716	5, 299
その他資産	85, 708	98, 101
有形固定資産	37, 956	37, 574
無形固定資産	2, 965	2, 706
退職給付に係る資産	308	762
繰延税金資産	17	17
支払承諾見返	6, 206	5, 717
貸倒引当金	△19, 016	△19, 145
資産の部合計	3, 078, 883	2, 996, 688
負債の部		, ,
預金	2, 641, 951	2, 601, 755
譲渡性預金	79, 067	34, 497
コールマネー及び売渡手形	2, 330	12, 660
債券貸借取引受入担保金	79, 343	67, 754
借用金	81, 831	68, 373
外国為替	4	143
その他負債	28, 723	40, 825
退職給付に係る負債	69	68
役員退職慰労引当金	4	4
睡眠預金払戻損失引当金	1, 128	984
ポイント引当金	52	48
繰延税金負債	5, 749	6, 765
再評価に係る繰延税金負債	4, 377	4, 377
支払承諾	6, 206	5, 717
負債の部合計	2, 930, 842	2, 843, 977
純資産の部	2, 000, 012	2,010,011
資本金	25, 000	25, 000
資本剰余金	9, 699	9, 699
利益剰余金	86, 144	88, 766
自己株式	△952	△890
株主資本合計	119, 892	122, 574
その他有価証券評価差額金	25, 225	28, 054
その他有画証券計画左領並 繰延ヘッジ損益	$\triangle 5, 196$	$\triangle 6,034$
土地再評価差額金	8, 899	8, 915
上地舟計価左領金 退職給付に係る調整累計額	5, 899 △1, 009	8, 915 △993
その他の包括利益累計額合計	27, 918	29, 905
新株予約権	100	100
非支配株主持分	130	130
純資産の部合計	148, 041	152, 711
負債及び純資産の部合計	3, 078, 883	2, 996, 688

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 中間連結損益計算書

		(単位:百万円)
	前中間連結会計期間 (自 2018年4月1日	当中間連結会計期間 (自 2019年4月1日
	至 2018年9月30日)	至 2019年9月30日)
経常収益	22, 053	20, 920
資金運用収益	16, 189	13, 885
(うち貸出金利息)	10, 063	9, 909
(うち有価証券利息配当金)	6, 057	3, 934
役務取引等収益	3, 286	3, 529
その他業務収益	667	845
その他経常収益	1, 909	2, 659
経常費用	16, 367	16, 558
資金調達費用	1, 548	1, 519
(うち預金利息)	389	276
役務取引等費用	1, 150	1, 171
その他業務費用	1, 034	152
営業経費	12, 367	12, 118
その他経常費用	265	1,596
経常利益	5, 686	4, 361
特別利益	9	_
固定資産処分益	9	_
特別損失	41	62
固定資産処分損	6	22
減損損失	35	39
税金等調整前中間純利益	5, 654	4, 299
法人税、住民税及び事業税	1, 134	854
法人税等調整額	521	141
法人税等合計	1, 656	995
中間純利益	3, 997	3, 303
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失 (△)	△0	1
親会社株主に帰属する中間純利益	3, 997	3, 302

中間連結包括利益計算書

		(単位:百万円)
	前中間連結会計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
中間純利益	3, 997	3, 303
その他の包括利益	△642	1,970
その他有価証券評価差額金	$\triangle 1,355$	2,777
繰延ヘッジ損益	721	△874
退職給付に係る調整額	65	16
持分法適用会社に対する持分相当額	$\triangle 74$	51
中間包括利益	3, 355	5, 274
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3, 355	5, 272
非支配株主に係る中間包括利益	$\triangle 0$	1

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	25, 000	9, 699	81, 975	△1, 262	115, 412		
当中間期変動額							
剰余金の配当			△642		△642		
親会社株主に帰属する 中間純利益			3, 997		3, 997		
自己株式の取得				$\triangle 0$	△0		
自己株式の処分			△83	197	114		
土地再評価差額金の取崩			2		2		
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)							
当中間期変動額合計			3, 273	196	3, 470		
当中間期末残高	25, 000	9, 699	85, 249	△1,065	118, 883		

		その作	也の包括利益累	 計額				
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
当期首残高	27, 886	△4, 191	9, 088	△585	32, 197	175	128	147, 913
当中間期変動額								
剰余金の配当								△642
親会社株主に帰属する 中間純利益								3, 997
自己株式の取得								△0
自己株式の処分								114
土地再評価差額金の取崩								2
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	△1, 429	721	△2	65	△644	△74	Δ1	△720
当中間期変動額合計	△1, 429	721	$\triangle 2$	65	△644	△74	△1	2, 749
当中間期末残高	26, 456	△3, 469	9, 086	△519	31, 553	100	127	150, 663

当中間連結会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

			株主資本		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	25, 000	9, 699	86, 144	△952	119, 892
当中間期変動額					
剰余金の配当			△638		△638
親会社株主に帰属する 中間純利益			3, 302		3, 302
自己株式の取得				$\triangle 0$	△0
自己株式の処分			△26	61	35
土地再評価差額金の取崩			△16		△16
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	_		2, 621	61	2, 682
当中間期末残高	25, 000	9, 699	88, 766	△890	122, 574

		その作	他の包括利益界	 計額				
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	新株予約権	・約権 非支配 株主持分 株主持分 ー	純資産合計
当期首残高	25, 225	△5, 196	8, 899	△1,009	27, 918	100	130	148, 041
当中間期変動額								
剰余金の配当								△638
親会社株主に帰属する 中間純利益								3, 302
自己株式の取得								△0
自己株式の処分								35
土地再評価差額金の取崩								△16
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	2, 829	△874	16	16	1, 986	_	0	1, 987
当中間期変動額合計	2, 829	△874	16	16	1, 986		0	4, 669
当中間期末残高	28, 054	△6, 071	8, 915	△993	29, 905	100	130	152, 711

(4)継続企業の前提に関する注記 該当事項はありません。

3. 中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

	前事業年度 (2019年3月31日)	当中間会計期間 (2019年9月30日)
・ 経産の部		
現金預け金	347, 155	254, 91
コールローン	3, 274	5, 72
買入金銭債権	14, 415	11, 17
商品有価証券	5	
金銭の信託	1,000	1, 10
有価証券	812, 078	833, 89
貸出金	1, 773, 653	1, 754, 24
外国為替	8, 716	5, 29
その他資産	85, 697	98, 09
その他の資産	85, 697	98, 09
有形固定資産	37, 828	37, 44
無形固定資産	2, 958	2, 70
前払年金費用	2, 375	2, 72
支払承諾見返	6, 206	5, 7
貸倒引当金	△18, 259	△18, 33
資産の部合計	3, 077, 106	2, 994, 70
債の部		
預金	2, 643, 610	2, 603, 33
譲渡性預金	80, 467	35, 89
コールマネー	2, 330	12, 6
債券貸借取引受入担保金	79, 343	67, 7
借用金	81, 831	68, 3
外国為替	4	14
その他負債	27, 352	39, 4
未払法人税等	373	64
リース債務	955	84
資産除去債務	140	13
その他の負債	25, 883	37, 79
退職給付引当金	616	5
睡眠預金払戻損失引当金	1, 128	98
ポイント引当金	52	4
繰延税金負債	6, 181	7, 18
再評価に係る繰延税金負債	4, 377	4, 37
支払承諾	6, 206	5, 7
負債の部合計	2, 933, 503	2, 846, 42

())/ LL.			-
(単位	٠	\vdash	ш١
(T 1)/.		\Box / J	1 1 /

	前事業年度 (2019年3月31日)	当中間会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
資本金	25, 000	25, 000
資本剰余金	6, 563	6, 563
資本準備金	6, 563	6, 563
利益剰余金	83, 913	86, 640
利益準備金	17, 338	17, 465
その他利益剰余金	66, 574	69, 174
別途積立金	55, 000	60,000
繰越利益剰余金	11, 574	9, 174
自己株式	△561	△499
株主資本合計	114, 915	117, 703
その他有価証券評価差額金	24, 884	27, 635
繰延ヘッジ損益	△5, 196	△6, 071
土地再評価差額金	8, 899	8, 915
評価・換算差額等合計	28, 587	30, 480
新株予約権	100	100
純資産の部合計	143, 602	148, 284
負債及び純資産の部合計	3, 077, 106	2, 994, 709

(2) 中間損益計算書

		(単位:百万円)
	前中間会計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
経常収益	22, 455	21, 051
資金運用収益	16, 766	14, 154
(うち貸出金利息)	10, 057	9, 905
(うち有価証券利息配当金)	6, 639	4, 207
役務取引等収益	3, 194	3, 432
その他業務収益	667	845
その他経常収益	1, 827	2, 618
経常費用	16, 445	16, 659
資金調達費用	1, 548	1, 519
(うち預金利息)	389	276
役務取引等費用	1, 460	1, 485
その他業務費用	1, 034	152
営業経費	12, 292	12, 051
その他経常費用	109	1, 450
経常利益	6, 010	4, 391
特別利益	9	_
特別損失	41	62
税引前中間純利益	5, 977	4, 329
法人税、住民税及び事業税	1, 028	768
法人税等調整額	561	152
法人税等合計	1, 589	920
中間純利益	4, 387	3, 408

(3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

						· · · · ·	Z · []/2 1/		
		株主資本							
		資本乗	創余金		利益剰余金				
	資本金		資本剰余金		その他利	益剰余金	利益剰余金		
		資本準備金	合計	利益準備金	別途積立金	繰越利益 剰余金	合計		
当期首残高	25, 000	6, 563	6, 563	17, 037	50,000	12, 563	79, 601		
当中間期変動額									
剰余金の配当						△642	△642		
中間純利益						4, 387	4, 387		
自己株式の取得									
自己株式の処分						△83	△83		
土地再評価差額金の取崩						2	2		
利益準備金の積立				128		△128	_		
別途積立金の積立					5, 000	△5,000	_		
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)									
当中間期変動額合計	_	_	_	128	5,000	△1, 464	3, 663		
当中間期末残高	25, 000	6, 563	6, 563	17, 166	55, 000	11, 098	83, 265		

	株主	株主資本 評価・換算差額等						
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	新株予約権	純資産合計
当期首残高	△871	110, 292	27, 421	△4, 191	9, 088	32, 318	175	142, 786
当中間期変動額								
剰余金の配当		△642						△642
中間純利益		4, 387						4, 387
自己株式の取得	△0	△0						△0
自己株式の処分	197	114						114
土地再評価差額金の取崩		2						2
利益準備金の積立		_						_
別途積立金の積立		_						_
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)			△1, 350	721	$\triangle 2$	△631	△74	△706
当中間期変動額合計	196	3, 860	△1, 350	721	$\triangle 2$	△631	△74	3, 154
当中間期末残高	△674	114, 153	26, 070	△3, 469	9, 086	31, 686	100	145, 940

当中間会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

				株主資本			
		資本乗	創余金		利益乗	創余金	
	資本金		資本剰余金		その他利	益剰余金	利益剰余金
		資本準備金	合計	利益準備金	別途積立金	繰越利益 剰余金	合計
当期首残高	25, 000	6, 563	6, 563	17, 338	55, 000	11, 574	83, 913
当中間期変動額							
剰余金の配当						△638	△638
中間純利益						3, 408	3, 408
自己株式の取得							
自己株式の処分						△26	△26
土地再評価差額金の取崩						△16	△16
利益準備金の積立				127		△127	_
別途積立金の積立					5, 000	△5,000	_
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)							
当中間期変動額合計	_	_	_	127	5, 000	△2, 400	2, 727
当中間期末残高	25, 000	6, 563	6, 563	17, 465	60,000	9, 174	86, 640

	株主	資本		評価・換	算差額等			
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価差額金	評価・換算 差額等合計	新株予約権	純資産合計
当期首残高	△561	114, 915	24, 884	△5, 196	8, 899	28, 587	100	143, 602
当中間期変動額								
剰余金の配当		△638						△638
中間純利益		3, 408						3, 408
自己株式の取得	△0	△0						△0
自己株式の処分	61	35						35
土地再評価差額金の取崩		△16						△16
利益準備金の積立		_						_
別途積立金の積立		_						_
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)			2, 750	△874	16	1, 892	_	1, 892
当中間期変動額合計	61	2, 788	2, 750	△874	16	1, 892	_	4, 681
当中間期末残高	△499	117, 703	27, 635	△6, 071	8, 915	30, 480	100	148, 284

2020年3月期第2四半期(中間期)決算説明資料

株式会社 四国銀行

≪2020年3月期第2四半期(中間期)決算説明資料≫

			頁
1. 2020年3月期第2四半期(中間期)決算の概況	兄	•••••	2
(1) 損益状況	単	•••••	2
	連	•••••	3
(2)業務純益	単	•••••	4
(3) 利鞘	単	•••••	4
(4) 有価証券関係損益	単	•••••	4
(5) 有価証券の評価損益	単・連	•••••	5
① 有価証券の評価基準	単・連	•••••	5
② 評価損益	単・連	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	5
(6) 自己資本比率(国内基準)	単・連	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	6
(7) ROE	単		6
2. 貸出金等の状況			7
(1) リスク管理債権の状況	単・連	•••••	7
(2) リスク管理債権の保全状況	単・连	•••••	7
(3)貸倒引当金の状況	単・連		8
(4)金融再生法開示債権	単・连		8
(5) 金融再生法開示不良債権の保全状況	単	•••••	8
《参考》自己査定・金融再生法開示債権・リ	•		O
《多句》自己且是 亚酰行工協問小頂惟 》	ンノ E 在 原	(作医 > 2 1/ 1 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	9
(6)業種別貸出状況等	単		10
① 業種別貸出金	単		10
② 業種別リスク管理債権	単		10
③ 個人ローン残高	単		11
④ 中小企業等貸出金	単	•••••	11
也 中小正来寻真山亚	平		11
3. 預金等・貸出金・預り資産残高		•••••	11
(1)預金等・貸出金の残高	単	•••••	11
(2) 個人・法人等別預金残高	単	•••••	11
(3)預り資産残高	単	•••••	12
① 総額	単	•••••	12
② 個人	単	•••••	12
4. 通期業績予想	単・連		12

≪補足資料≫

2019年度中間決算の概要

1. 2020年3月期第2四半期(中間期)決算の概況

(1) 損益状況

【単体】 (単位:百万円)

【単体】	_			(単位:百万円)
		2019年中間期		2018年中間期
			2018年中間期比	
業務粗利益	1	15, 274	△ 1,310	16, 584
(コア業務粗利益) (注)1	2	14, 597	△ 2, 278	16, 875
資 金 利 益	3	12,635	△ 2,582	15, 217
役 務 取 引 等 利 益	4	1,946	213	1, 733
その他業務利益	5	692	1, 058	△ 366
う ち 債 券 関 係 損 益	6	677	968	△ 291
経費 (除く臨時処理分) (△)	7	12,028	△ 169	12, 197
人 件 費 (△)	8	5,672	△ 105	5, 777
物 件 費 (△)	9	5, 617	△ 67	5, 684
税 金 (△)	10	738	3	735
実質業務純益(注)2	11	3, 246	△ 1, 140	4, 386
(コア業務純益) (注)3	12	2, 569	△ 2, 108	4, 677
(コア業務純益 (除く投資信託解約損益))	13	2, 493	△ 709	3, 202
一般貸倒引当金繰入額(△)	14	547	803	△ 256
業 務 純 益	15	2,699	△ 1,944	4, 643
臨 時 損 益	16	1,692	325	1, 367
不 良 債 権 処 理 額 (△)	17	87	△ 216	303
貸 出 金 償 却 (△)	18	96	68	28
個別貸倒引当金純繰入額(△)	19	△ 32	△ 289	257
その他(△)	20	23	6	17
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	21	_		
償 却 債 権 取 立 益	22	932	669	263
株式等関係損益	23	506	△ 532	1, 038
その他臨時損益	24	341	△ 27	368
経 常 利 益	25	4, 391	△ 1,619	6, 010
特 別 損 益	26	△ 62	△ 30	△ 32
固 定 資 産 処 分 損 益	27	△ 22	△ 24	2
固 定 資 産 処 分 益	28		△ 9	9
固 定 資 産 処 分 損 (△)	29	22	16	6
減	30	39	4	35
税 引 前 中 間 純 利 益	31	4, 329	△ 1,648	5, 977
法人税、住民税及び事業税(△)	32	768	△ 260	1, 028
法 人 税 等 調 整 額 (△)	33	152	△ 409	561
法 人 税 等 合 計 (△)	34	920	△ 669	1, 589
中 間 純 利 益	35	3, 408	△ 979	4, 387
与信関係費用(注)4	36	635	588	47
実質与信関係費用(注)5	37	△ 297	△ 81	△ 216

⁽注)1 (2)コア業務粗利益=(1)業務粗利益-(6)債券関係損益

⁽注)2 (11)実質業務純益=(1)業務粗利益-(7)経費(除く臨時処理分)

⁽注)3 (12)コア業務純益=(11)実質業務純益-(6)債券関係損益

⁽注) 4 (36) 与信関係費用=(14) 一般貸倒引当金繰入額+(17) 不良債権処理額-(21)貸倒引当金戻入益

⁽注) 5 (37) 実質与信関係費用=(36) 与信関係費用-(22) 償却債権取立益

【連結】

<連結損益計算書ベース> (単位:百万円) 2018年中間期 2019年中間期 2018年中間期比 連 結 粗 利 益 (注) 1 1 15, 416 \triangle 994 16,410 2 金 利 益 12, 366 14,640 資 \triangle 2, 274 役 務 取 引 等 利 益 3 2, 357 221 2, 136 \mathcal{O} 他 業 務 利 益 692 1,058 \triangle 366 4 業 費 (\triangle) 12, 367 営 経 5 12, 118 \triangle 249 与 信 関 係 費 用 6 781 578 203 (\triangle) 償 却 7 99 35 貸 H金 (\triangle) 64 △ 291 別 貸 倒 引 当 繰 額 8 103 394 個 金 (\triangle) 般 貸 倒 引 当 金 繰 額 (\triangle) 9 554 798 \triangle 244 そ 不良債権 処 理 額 \mathcal{O} 他の (\triangle) 10 23 6 17 貸 倒 当 戻 益 引 金 11 却 債 権 取 立 益 12 償 932 669 263 株 式 等 関 係 損 益 13 506 1,038 △ 532 持 分 法 に ょ る 投 資 利 益 △ 39 14 36 75 そ 他 15 369 △ 99 468 経 常 利 益 16 4, 361 △ 1,325 5,686 △ 32 特 別 損 益 17 \triangle 62 △ 30 税 金 等 調整前中間 純 益 18 4, 299 △ 1,355 5,654 法 住民税及び事業 税 人税、 (\triangle) 19 854 △ 280 1, 134 法 整 箬 調 額 20 521 税 (\triangle) 141 △ 380 法 税 等 合 計 21 995 △ 661 1,656 利 間 純 22 3, 303 △ 694 3,997 非支配株主に帰属する中間純利益又は (\triangle) 23 \triangle 0 1 1 非支配株主に帰属する中間純損失 (△) 親会社株主に帰属する中間純利益 24 3, 302 \triangle 695 3,997 実 質 与 信 関 係 費 用 (注) 2 25

(注)1 (1)連結粗利益=(資金運用収益-資金調達費用)+(役務取引等収益-役務取引等費用) + (その他業務収益-その他業務費用)

(注) 2 (25) 実質与信関係費用=(6)与信関係費用-(12) 償却債権取立益

(社) (連結対象会社数) 連 結 会 社 数 4 4 持 数 滴 用 会 分 法 社 1

△ 151

91

△ 60

(2)業務純益【単体】

(2)業務純益【単体】			(単位:百万円)
	2019年中間期		2018年中間期
		2018年中間期比	"
実質業務純益	3, 246	△ 1,140	4, 386
職員一人当たり(千円)	2, 342	△ 804	3, 146
業務純益	2, 699	△ 1,944	4, 643
職員一人当たり(千円)	1, 947	△ 1,383	3, 330

(3) 利鞘【単体】

<全店> (単位:%)

<u> </u>			(112.70)		
	2019年中間期				
		2018年中間期比			
資金運用利回 (A)	1.00	△ 0.20	1. 20		
貸 出 金 利 回	1.12	△ 0.08	1.20		
有 価 証 券 利 回	1.08	△ 0.36	1.44		
資金調達原価 (B)	0.93	△ 0.02	0.95		
預 金 等 利 回	0.02	0.00	0.02		
外 部 負 債 利 回	0.69	0. 21	0.48		
総資金利鞘 (A) - (B)	0.07	△ 0.18	0.25		

<国内> (単位:%)

			2019年中間期		2018年中間期
				2018年中間期比	
資金	:運用利回	(A)	0.87	△ 0.19	1. 06
	貸出金利回		1.08	△ 0.09	1. 17
	有価証券利回		0.88	△ 0.46	1.34
資金	:調達原価	(B)	0.89	△ 0.03	0.92
	預金等利回		0.01	△ 0.01	0.02
	外部負債利回		0.05	△ 0.06	0.11
総資	金利鞘 (A) -	(B)	△ 0.02	△ 0.16	0.14

(4) 有価証券関係損益【単体】

(単位:百万円)

		2018年中間期
	2018年中間期比	
677	968	△ 291
820	177	643
	_	
58	△ 628	686
38	△ 169	207
46	7	39
	820 — 58 38	$ \begin{array}{c cccc} 677 & 968 \\ 820 & 177 \\ \hline - & - \\ \hline 58 & \triangle 628 \\ \hline 38 & \triangle 169 \\ \hline \end{array} $

Γ	株豆	株 式等関係損益				506	△ 532	1,038
		売	却	益		1, 208	128	1,080
		売	却	損		84	42	42
		償		却		617	617	_

(5) 有価証券の評価損益

① 有価証券の評価基準

売買目的有価証券	時価法(評価差額を損益処理)
満期保有目的有価証券	償却原価法
その他有価証券	時価法(評価差額を全部純資産直入)
子会社株式及び関連会社株式	原価法

② 評価損益

(単位:百万円)

				2019年9月末			2019年3月末			2018年9月末		
	【単体】	評価損益					評価損益			評価損益		
	【半件】		2019年3月末比	2018年9月末比	評価益	評価損		評価益	評価損		評価益	評価損
満	期保有目的	=	_	_				=	ı		=	=
子	会社・関係会社株式	-		_			-	-	I	-	-	-
そ	の他有価証券	39, 702	4, 002	2, 455	43, 876	4, 173	35, 700	38, 851	3, 150	37, 247	41, 240	3, 993
	株式	13, 350	△ 2, 124	△ 11,770	16, 941	3, 590	15, 474	17, 992	2, 518	25, 120	26, 509	1, 388
	債 券	12, 928	1, 243	5, 947	13, 129	200	11, 685	11, 861	176	6, 981	7, 781	799
	その他	13, 422	4, 882	8, 278	13, 805	382	8, 540	8, 996	455	5, 144	6, 949	1,805
合	計	39, 702	4, 002	2, 455	43, 876	4, 173	35, 700	38, 851	3, 150	37, 247	41, 240	3, 993
	株 式	13, 350	△ 2, 124	△ 11,770	16, 941	3, 590	15, 474	17, 992	2, 518	25, 120	26, 509	1, 388
	債 券	12, 928	1, 243	5, 947	13, 129	200	11, 685	11, 861	176	6, 981	7, 781	799
	その他	13, 422	4, 882	8, 278	13, 805	382	8, 540	8, 996	455	5, 144	6, 949	1,805

- (注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、(中間)貸借対照表計上額と取得原価との差額を計上しております。
 - 2.2019年9月末における「その他有価証券」に係る評価差額金は、27,635百万円であります。

(単位:百万円)

			4	2019年9月末				2019年3月末	ŧ		2018年9月末		
	【連結】						評価損益			評価損益			
	【连和】		2019年3月末比	2018年9月末比	評価益	評価損		評価益	評価損		評価益	評価損	
満	期保有目的	=	_	=	_	=	_	=	_	=	_		
そ	の他有価証券	40, 425	4, 043	2, 538	44, 598	4, 173	36, 382	39, 533	3, 150	37, 887	41, 881	3, 993	
	株式	14, 073	△ 2,083	△ 11,688	17, 663	3, 590	16, 156	18, 675	2, 518	25, 761	27, 149	1, 388	
	債 券	12, 928	1, 243	5, 947	13, 129	200	11, 685	11, 861	176	6, 981	7, 781	799	
	その他	13, 422	4, 882	8, 278	13, 805	382	8, 540	8, 996	455	5, 144	6, 949	1,805	
合	計	40, 425	4, 043	2, 538	44, 598	4, 173	36, 382	39, 533	3, 150	37, 887	41, 881	3, 993	
	株式	14, 073	△ 2,083	△ 11,688	17, 663	3, 590	16, 156	18, 675	2, 518	25, 761	27, 149	1, 388	
	債 券	12, 928	1, 243	5, 947	13, 129	200	11, 685	11,861	176	6, 981	7, 781	799	
	その他	13, 422	4, 882	8, 278	13, 805	382	8, 540	8, 996	455	5, 144	6, 949	1,805	

⁽注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、(中間)連結貸借対照表計上額と取得原価との差額を計上しております。

^{2.2019}年9月末における「その他有価証券」に係る評価差額金は、28,054百万円であります。

(6) 自己資本比率(国内基準)

【単体】 (単位:百万円)

		2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
			2019年3月末比	2018年9月末比		
1	自己資本比率(②/③)	9. 25 %	0.16 %	△ 0.28%	9. 09 %	9.53%
2	自己資本の額	131,779	2, 778	2, 200	129, 001	129, 579
3	リスク・アセットの額	1, 423, 227	5, 243	64, 594	1, 417, 984	1, 358, 633
4	総所要自己資本額	56, 929	210	2, 584	56, 719	54, 345

⁽注) 総所要自己資本額は、リスク・アセットの額に4%を乗じた額であります。

【連結】 (単位:百万円)

		2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
			2019年3月末比	2018年9月末比		
1	自己資本比率(②/③)	9. 58 %	0.15 %	△ 0.29%	9. 43 %	9.87 %
2	自己資本の額	137, 250	2, 620	2, 310	134, 630	134, 940
3	リスク・アセットの額	1, 432, 330	5, 300	65, 233	1, 427, 030	1, 367, 097
4	総所要自己資本額	57, 293	212	2,610	57, 081	54, 683

⁽注) 総所要自己資本額は、リスク・アセットの額に4%を乗じた額であります。

(7) ROE【単体】 (単位:%)

					(平位・/0)
	2019年中間期			2018年度	2018年中間期
		2018年度比	2018年中間期比		
実質業務純益ベース	4. 43	△ 1.24	△ 1.63	5. 67	6.06
業務純益ベース	3. 69	△ 2.08	△ 2.73	5. 77	6. 42
中間(当期)純利益ベース	4. 66	0.22	△ 1.40	4.44	6.06

(注) 1. (実質)業務純益ベース

 (期首自己資本+中間期末(期末)自己資本)÷2

 (期前自己資本)

2. 中間(当期)純利益ベース

※ 自己資本=純資産の部合計-新株予約権

2. 貸出金等の状況

(1) リスク管理債権の状況

(部分直接償却実施後)

2019年9月末

	>>1		۱. ۱	
ı	\blacksquare	1/		

(単位:百万円)

2019年3月末 2018年9月末

			2019年3月末比	2018年9月末比		
リ	破 綻 先 債 権	285	122	28	163	257
スク	延 滞 債 権	34, 364	△ 601	△ 1,083	34, 965	35, 447
管	3カ月以上延滞債権	1	l	_		_
理債	貸出条件緩和債権	3, 387	△ 154	11	3, 541	3, 376
権	合計	38, 037	△ 633	△ 1,044	38, 670	39, 081
		•				
貸	出金残高(末残)	1, 754, 248	△ 19, 405	59, 322	1, 773, 653	1, 694, 926
		-				(単位:%)
貸	破 綻 先 債 権	0.01	0.01	0.00	0.00	0.01
íш	7.4 油	1 05	A 0 00	A 0 14	1 07	0.00

貸	破綻先債権	0.01	0.01	0.00	0.00	0. 01
出	延滞債権	1. 95	△ 0.02	△ 0.14	1.97	2.09
金残	3カ月以上延滞債権	_	_		_	_
高	貸出条件緩和債権	0. 19	0.00	0.00	0.19	0. 19
比	合 計	2. 16	△ 0.02	△ 0.14	2.18	2. 30

【連結】 (単位:百万円)

			<u> </u>	<u>т</u> , <u>п</u> /2 1 //		
		2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
			2019年3月末比	2018年9月末比		
IJ	破 綻 先 債 権	616	151	88	465	528
ス ク	延滞債権	34, 593	△ 608	△ 1,060	35, 201	35, 653
管	3 カ月以上延滞債権	ı	_		l	l
理債	貸出条件緩和債権	3, 387	△ 154	11	3, 541	3, 376
権	合 計	38, 597	△ 611	△ 961	39, 208	39, 558

貸	出金残高 (末残)	1, 754, 808	△ 19, 384	59, 405	1, 774, 192	1, 695, 403
						(単位:%)
貸	破 綻 先 債 権	0.03	0.01	0.00	0.02	0.03
出	延滞債権	1. 97	△ 0.01	△ 0.13	1. 98	2. 10
金残	3カ月以上延滞債権	_	-	-	_	_
高	貸出条件緩和債権	0. 19	0.00	0.00	0.19	0. 19
比	合計	2. 19	△ 0.01	△ 0.14	2.20	2. 33

(2) リスク管理債権の保全状況【単体】

(単位:百万円、%)

	2019年9月末		2019年3月末	2018年9月末	
		2019年3月末比	2018年9月末比		
リスク管理債権額	38, 037	△ 633	△ 1,044	38, 670	39, 081
貸 倒 引 当 金	7, 717	△ 534	24	8, 251	7, 693
担 保 保 証 等	24, 502	△ 290	△ 1,796	24, 792	26, 298
貸倒引当金引当率	20. 28	△ 1.05	0.60	21. 33	19.68
保 全 率	84.70	△ 0.74	△ 2.27	85. 44	86. 97

(3) 貸倒引当金の状況

【単体】 (単位:百万円)

_					· · ·	<u>т</u> . п / • 1 • /
Ī		2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
Γ	貸倒引当金	18, 339	80	737	18, 259	17,602
	一般貸倒引当金	10, 900	548	661	10, 352	10, 239
	個別貸倒引当金	7, 439	△ 467	77	7, 906	7, 362

【連結】 (単位:百万円)

		2019年9月末			2019年3月末	2019年0日士
		2019年9月末	平9月 木			2010年9月末
			2019年3月末比	2018年9月末比		
佳	資倒引当金	19, 145	129	814	19, 016	18, 331
	一般貸倒引当金	11,070	555	668	10, 515	10, 402
	個別貸倒引当金	8,075	△ 426	147	8, 501	7, 928

(4) 全融再生法開示債権【単休】

_ (∠	4) 金	融再生	法開	示債権	[【単体]	1				(単	i位:百万円)
							2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
								2019年3月末比	2018年9月末比		
金	破産勇	更生債権及	びこわ	らに準ず	る債権		5, 640	178	372	5, 462	5, 268
融再	危	険		債	権		29, 189	△ 720	△ 1,478	29, 909	30, 667
生法	要	管	理	債	権		3, 387	△ 154	11	3, 541	3, 376
開	小				計 (A	(Y)	38, 217	△ 695	△ 1,095	38, 912	39, 312
示債	正	常		債	権		1, 749, 535	△ 17,883	64, 521	1, 767, 418	1, 685, 014
権	合				計		1, 787, 752	△ 18,579	63, 425	1,806,331	1, 724, 327

(単位:%)

										(平位・/0)
						2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
							2019年3月末比	2018年9月末比		
LH:	破産り	更生債権及	びこれ	らに準す	"る債権	0.31	0.01	0.01	0.30	0. 30
構	危	険		債	権	1.63	△ 0.02	△ 0.14	1.65	1. 77
成	要	管	理	債	権	0.18	△ 0.01	△ 0.01	0.19	0. 19
比	小				計	2. 13	△ 0.02	△ 0.14	2. 15	2. 27
	正	常		債	権	97.86	0.02	0. 14	97.84	97. 72

(5) 金融再生法開示不良債権の保全状況【単体】 (単位·百万円)

	(0) 亚酰门工区间约,广区原准少价工作的									(単位・日ガウ)		
							2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末	
								2019年3月末比	2018年9月末比			
保		全		額	((B)	32, 399	△ 763	△ 1,723	33, 162	34, 122	
	貸	倒	引	当	金		7,810	△ 441	94	8, 251	7, 716	
	担	保	保	証	等		24, 589	△ 322	△ 1,816	24, 911	26, 405	
								_			(単位:%)	
保		全	•	率	(B) / ((A)	84. 77	△ 0.45	△ 2.02	85. 22	86. 79	

《参考》自己査定・金融再生法開示債権・リスク管理債権の状況【単体】

(単位:百万円)

自己	査 定	金融再生	法 開 示 債	権	(単位:百万円) リスク管理債権
債 務 ¹ 与 信	者 区 分 残 高	区 分 与信残高(総与信比率) (A)	担保・保証等 引 当 金 保全額合計(B)	保全率 (B)/(A)	区 分貸出金残高(貸出金比率)
破綻	先 債 権 285	破産更生債権及び	4, 058		破 綻 先 債 権 285 (0.01%)
	淀 先 債 権 5,354	これらに準ずる債権 5,640 (0.31%)	1, 581 5, 640	100.00%	
			19, 431		延 滞 債 権 34,364 (1.95%)
	念 先 債 権),189	危 険 債 権 29,189(1.63%)	5, 815	86. 49%	, , , , ,
			25, 247 1, 098		3 カ月以上延滞債権
		要管理債権	412	44. 61%	- (-)
要注意先	要管理先 債 権	3, 387 (0. 18%)	1,511		貸出条件緩和債権 3,387 (0.19%)
債 権 135,475	4, 108	[小 計] 38,217 (2.13%)	24, 589 7, 810	84. 77%	[合 計] 38,037 (2.16%)
	その他 要注意先 債 権 131,367	正 常 債 権 1,749,535	32, 399		00,007 (2,15%)
正 常 5 1,617					
総 与 f 1,78	言 残 高 7,752	総 与 信 残 高 1,787,752			貸 出 金 残 高 1,754,248

⁽注)総与信残高には、自行保証付私募債 (時価)を含めて記載しております。

(6)業種別貸出状況等【単体】

① 業種別貸出金 (単位:百万円)

少人E//人名日本	2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
業種別		2019年3月末比	2018年9月末比		
国内(除く特別国際金融取引勘定分)	1, 754, 248	△ 19, 405	59, 322	1, 773, 653	1, 694, 926
製造業	191, 468	△ 7, 105	△ 7,367	198, 573	198, 835
農業、林業	2, 159	△ 106	△ 57	2, 265	2, 216
漁業	1, 942	△ 151	△ 96	2, 093	2, 038
鉱業、採石業、砂利採取業	3, 048	779	1, 048	2, 269	2,000
建設業	45, 075	\triangle 2, 526	19	47, 601	45, 056
電気・ガス・熱供給・水道業	49, 748	△ 82	2, 227	49,830	47, 521
情報通信業	12, 226	△ 1,660	△ 869	13, 886	13, 095
運輸業、郵便業	40, 429	△ 1, 127	325	41, 556	40, 104
卸売業	89, 645	△ 3,834	△ 70	93, 479	89, 715
小売業	96, 060	△ 5, 410	△ 7,020	101, 470	103, 080
金融業、保険業	32, 862	536	△ 862	32, 326	33, 724
不動産業	240, 939	534	2, 334	240, 405	238, 605
物品賃貸業	43, 725	△ 1,114	1, 907	44, 839	41,818
学術研究、専門・技術サービス業	6, 346	△ 218	601	6, 564	5, 745
宿泊業	8, 027	38	440	7, 989	7, 587
飲食業	9, 667	△ 361	50	10, 028	9, 617
生活関連サービス業、娯楽業	28, 081	380	1, 458	27, 701	26, 623
教育、学習支援業	23, 751	7, 297	11, 105	16, 454	12, 646
医療・福祉	103, 904	△ 2,380	△ 3,420	106, 284	107, 324
その他のサービス	27, 806	△ 3, 121	453	30, 927	27, 353
地方公共団体	273, 032	△ 14, 421	21, 273	287, 453	251, 759
その他	424, 297	14, 644	35, 843	409, 653	388, 454

② 業種別リスク管理債権				(<u>)</u>	单位:百万円)
業種別	2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
未但如		2019年3月末比	2018年9月末比		
国内(除く特別国際金融取引勘定分)	38, 037	△ 633	△ 1,044	38, 670	39, 081
製造業	7, 200	1, 362	2, 234	5, 838	4, 966
農業、林業	138	△ 8	25	146	113
漁業	234	△ 66	△ 79	300	313
鉱業、採石業、砂利採取業	1, 370	△ 14	△ 74	1, 384	1, 444
建設業	2, 633	△ 36	73	2,669	2, 560
電気・ガス・熱供給・水道業	4	4	△ 13	_	17
情報通信業	147	\triangle 12	△ 72	159	219
運輸業、郵便業	294	△ 156	△ 106	450	400
卸売業	3, 752	△ 558	△ 648	4, 310	4, 400
小売業	6, 481	893	1, 427	5, 588	5, 054
金融業、保険業	41	△ 8	△ 7	49	48
不動産業	3, 919	△ 259	△ 2,049	4, 178	5, 968
物品賃貸業	171	△ 11	△ 22	182	193
学術研究、専門・技術サービス業	151	△ 43	△ 67	194	218
宿泊業	1, 040	△ 21	△ 29	1,061	1,069
飲食業	1, 021	△ 128	△ 91	1, 149	1, 112
生活関連サービス業、娯楽業	2, 189	△ 64	△ 44	2, 253	2, 233
教育、学習支援業	144	△ 3	2	147	142
医療・福祉	2, 708	△ 94	△ 37	2,802	2, 745
その他のサービス	1, 847	△ 16	△ 125	1,863	1, 972
地方公共団体	_	_	_	_	_
その他	2, 545	△ 1,394	△ 1,339	3, 939	3, 884

③ 個人ローン残高

(単位:百万円)

	2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
		2019年3月末比	2018年9月末比		
住宅ローン	308, 730	6, 326	18, 124	302, 404	290, 606
その他ローン	31, 180	△ 253	△ 806	31, 433	31, 986
合 計	339, 911	6,073	17, 318	333, 838	322, 593

④ 中小企業等貸出金

(単位:百万円)

-	0 1 4 = 74 4 77 11 = 1	\ 1 I	T . 11/4/1/			
ſ		2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
			2019年3月末比	2018年9月末比		
ſ	中小企業等貸出金	1, 188, 757	△ 3,406	37, 342	1, 192, 163	1, 151, 415
	うち中小企業向け貸出金	842, 647	△ 9,782	20, 157	852, 429	822, 490

3. 預金等・貸出金・預り資産残高

(1)預金等・貸出金の残高【単体】

(単位:百万円)

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		V 1 1	五・日/ 3 13/	
	2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
		2019年3月末比	2018年9月末比		
預金等 (末残)	2, 639, 229	△ 84,849	△ 87, 257	2, 724, 078	2, 726, 486
(平残)	2, 684, 293	27, 077	3, 510	2, 657, 216	2, 680, 783
貸 出 金 (末残)	1, 754, 248	△ 19, 405	59, 322	1, 773, 653	1, 694, 926
(平残)	1, 759, 786	69, 675	87, 449	1, 690, 111	1, 672, 337

(注)預金等=預金+譲渡性預金

(2) 個人・法人等別預金残高【単体】

(単位:百万円)

	2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
		2019年3月末比	2018年9月末比		
個 人 (末残)	1, 752, 754	△ 2,014	△ 7,871	1, 754, 768	1, 760, 625
法人等 (末残)	850, 577	△ 38, 265	△ 6,528	888, 842	857, 105
合計	2, 603, 331	△ 40, 279	△ 14, 399	2, 643, 610	2, 617, 730

(注)譲渡性預金及び特別国際金融取引勘定分は、含んでおりません。

(3) 預り資産残高 【単体】

① 総額 (単位:百万円)

	_ , ,							\ 1 I·	7 · 11/4/
					2019年9月末		2019年3月末	2018年9月末	
						2019年3月末比	2018年9月末比		
]	預り資産残高			260, 412	△ 1,781	486	262, 193	259, 926	
	公	羊	ţ	債	17, 645	△ 1,059	△ 847	18, 704	18, 492
	投	資	信	託	51, 911	△ 1,614	△ 4, 261	53, 525	56, 172
	個人	、年 🕯	定保 [険 等	190, 855	892	5, 594	189, 963	185, 261

② 個人 (単位:百万円)

) 11	, .						(+1	7 · D /2 1/
				2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
					2019年3月末比	2018年9月末比		
個人預	り資産を	戋高		252, 817	△ 1,298	1, 154	254, 115	251, 663
公	共		債	12, 120	△ 615	△ 270	12, 735	12, 390
投	資	信	託	49, 841	△ 1,575	△ 4,170	51, 416	54, 011
個)	人年金	保) 等	190, 855	892	5, 594	189, 963	185, 261

4. 通期業績予想

【単体】 (単位:百万円、%)

				2019年度			2018年度
				予想	2018年度比	増減率	実績
経	常	収	益	39, 300	△ 6, 139	△ 13.51	45, 439
経	常	利	益	5, 100	△ 4, 473	△ 46.72	9, 573
当	期 糸	植利	益	4,000	△ 2, 364	△ 37.14	6, 364

【連結】 (単位:百万円、%)

	2019年度			2018年度
	予想	2018年度比	増減率	実績
経 常 収 益	39, 300	△ 5, 927	△ 13.10	45, 227
経 常 利 益	5, 300	△ 4, 286	△ 44.71	9, 586
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	4,000	△ 2, 221	△ 35.70	6, 221

株式会社四国銀行

2019年度中間決算の概要



目次

	がある。 がある。 はないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	
~~ • • • • • • • • • • • • • • • • • •	ついては、億円未満を切り捨てて(一部百万円未満を切り捨て)表示しております。	
況明	ての増減につきましては、億円未満を切り捨てて記載しております。	
4	2019年度中間期損益の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	_
2	資金利益(貸出金利息と平均残高・利回り)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	_
	資金利益(有価証券利息配当金と平均残高・利回り)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	_
4	. 役務取引等利益	
	(1) 内訳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	(2)預り資産関係手数料、法人ソリューション収益・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	経費及び経営効率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	与信コスト及び与信コスト率、有価証券関係損益・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	総預金及び個人預り資産残高・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1	
8	貸出金残高及び個人ローン残高・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1	1
	有価証券残高・評価損益・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	自己資本比率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	不良債権の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	2019年度業績予想・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1	
	2019年度 1	
1)	お客さまへの取組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	c
	地方創生への取組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	・	
	ー テンタルを冶用したコンリルテイングの強化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 四国アライアンスの取組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	- Vulti バコイ バ ノス(ノ)BV細か・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	

1. 2019年度中間期損益の概況

実質業務純益は、役務取引等利益やその他業務利益は増加し経費も減少しましたが、資金利益が減少し、前年同期比11億円減少の32億円となりました。業務純益は、一般貸倒引当 金の増加により、前年同期比19億円減少の26億円となりました。臨時損益は、株式等関係損益は減少しましたが、不良債権処理額の減少や償却債権取立益の増加等により、前年同 期比3億円増加の16億円となりました。これらの結果、経常利益は、前年同期比16億円減少の43億円、中間純利益は、同9億円減少の34億円となりました。

				(百万円)
		2018年度中間期	2019年度中間期	前年同期比 /
経常収益		22,455	21,051	△ 1 , 404
業務粗利益		16,584	15,274	△ 1,310 /
コア業務粗利益		16,875	14,597	△ 2,278 /
資金利益		15,217	12,635	△ 2,582
役務取引等利益		1,733	1,946	213
その他業務利益		△ 366	692	1,058
国債等債券関係損益		△ 291	677	968
経費	\triangle	12,197	12,028	△ 169
人件費	\triangle	5,777	5,672	△ 105 \
物件費	\triangle	5,684	5,617	△ 67
税金	\triangle	735	738	3
実質業務純益		4,386	3,246	△ 1,140
コア業務純益		4,677	2,569	△ 2,108
コア業務純益(投資信託解約損益除く)	3,202	2,493	△ 709
一般貸倒引当金繰入額	\triangle	△ 256	547	803
業務純益		4,643	2,699	△ 1,944
臨時損益		1,367	1,692	325
不良債権処理額	\triangle	303	87	△ 216
貸倒引当金戻入益		_	-	-
償却債権取立益		263	932	669
株式等関係損益		1,038	506	△ 532
その他		368	341	△ 27
経常利益		6,010	4,391	△ 1,619
特別損益		△ 32	△ 62	△ 30
税引前中間純利益		5,977	4,329	△ 1,648
法人税等合計	\triangle	1,589	920	△ 669
中間純利益		4,387	3,408	△ 979

マイナス金利の環境の下、再投資抑制により残高 が減少したことに加え、投資信託解約益が減少 し、有価証券利息配当金が大きく減少しました。

個人ローンに関する費用は増加しましたが、ビジ ネスコンサルティングの機能強化により、法人ソ リューション収益が増加しました。

前年同期は含み損銘柄の入替売買を行いました。

人件費や物件費が減少し、経費全体でも減少しま した。

実質与信関係費用は、前年同期に引き続きマイナ スとなりました。

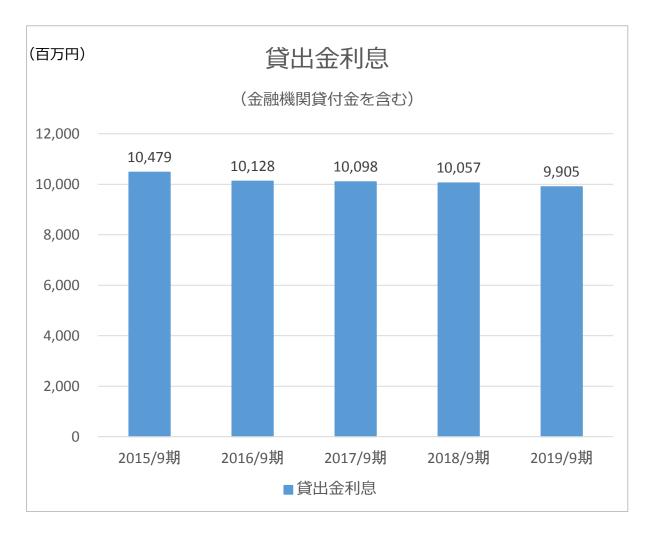
売却益は増加しましたが、保有株式の減損処理を 行いました。

中間純利益は上記要因により、9億円減少しまし た。

(株)四国銀行(8387)2020年3月期第2四半期(中間期)決算短信 3

2. 資金利益(貸出金利息と平均残高・利回り)

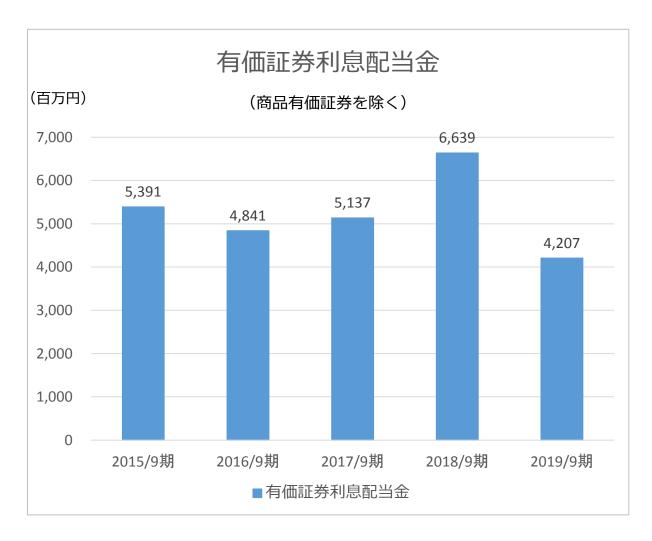
2019年度中間期の貸出金利息は、事業性評価に基づいたソリューション営業やお客さま本位のコンサルティング営業を積極的に推進しました結果、平均残高は増加し ましたが、超低金利政策の継続等により利回りが低下し、前年同期比1億円減少の99億円となりました。





3. 資金利益(有価証券利息配当金と平均残高・利回り)

2019年度中間期の有価証券利息配当金は、マイナス金利の環境の下、再投資抑制により平均残高が減少し、投資信託解約益の減少により利回りも低下したため、前 年同期比24億円減少の42億円となりました。





4. 役務取引等利益(1)内訳

2019年度中間期の役務取引等利益は、個人ローン残高の増加に伴い、主として保証料や団体信用生命保険料などの役務取引等費用は増加しましたが、一方で、ビ ジネスコンサルティングや個人コンサルティングの強化に努めました結果、役務取引等収益が増加し、前年同期比2億円増加の19億円となりました。

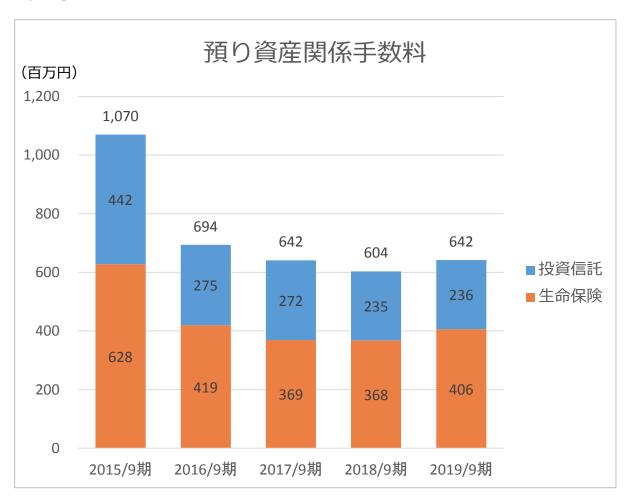


役務取引等収益・費用 (百万円) 4,000 3,558 3,432 3,500 3,217 3,194 3.171 3,000 2,500 ■役務取引等収益 2,000 ■役務取引等費用 .485 ,460 1,500 1,321 1,132 970 1,000 500 2015/9期 2016/9期 2017/9期 2018/9期 2019/9期

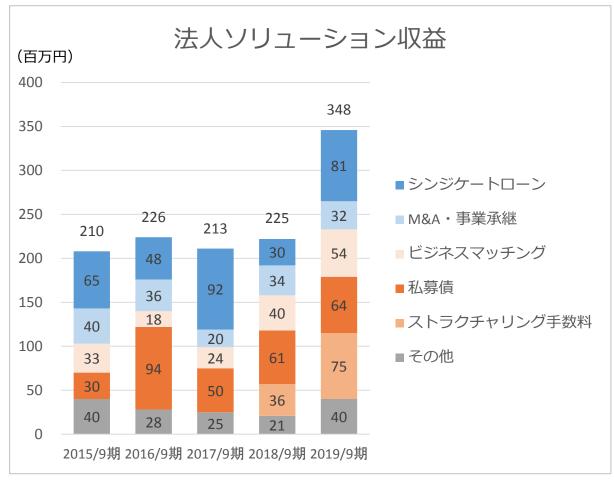
※「法人ソリューション収益」は管理会計ベースであります。

4. 役務取引等利益(2)預り資産関係手数料、法人ソリューション収益

お客さまの多様な資金運用ニーズに対応しました結果、投資信託・生命保険共に 増加し、預り資産関係手数料は前年同期比0億円(38百万円)増加の6億円とな りました。



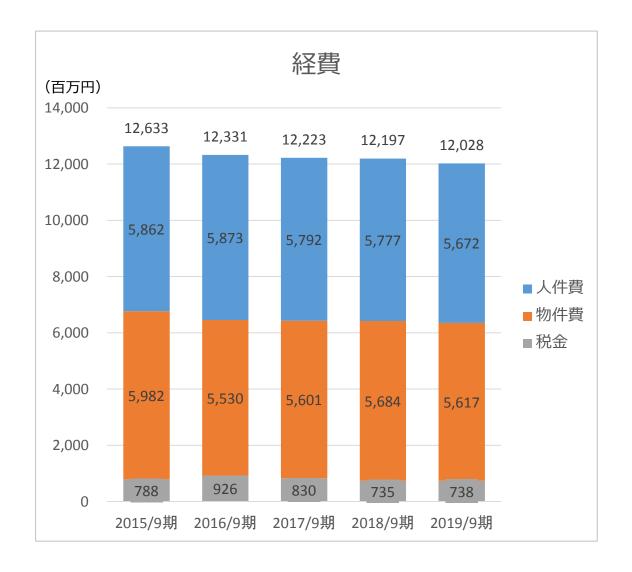
積極的なシンジケートローンへの取組みや、お客さまの多様な資金調達ニーズに 対応したスキームを構築するストラクチャリング手数料等により、法人ソリュー ション収益は前年同期比1億円増加の3億円となりました。



※「法人ソリューション収益」は管理会計ベースであります。

5. 経費及び経営効率

2019年度中間期の経費は、前年同期比1億円減少の120億円となりま した。人件費・物件費共に減少し、効率化が図られています。



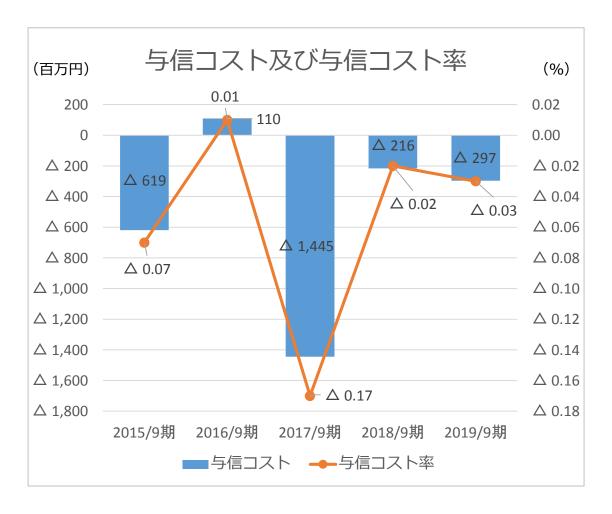
OHRとは、経費の業務粗利益に対する割合を表したものです。 2019年度中間期は、経費は減少しましたが業務粗利益も減少し、前 年同期比5.2ポイント上昇の78.7%となりました。





6. 与信コスト及び与信コスト率、有価証券関係損益

2019年度中間期の与信コスト(=実質与信関係費用)は前年同期と 同程度の2億円のマイナスとなりました。与信コスト率も△0.03%と なり、前年同期の△0.02%から0.01ポイント低下しました。



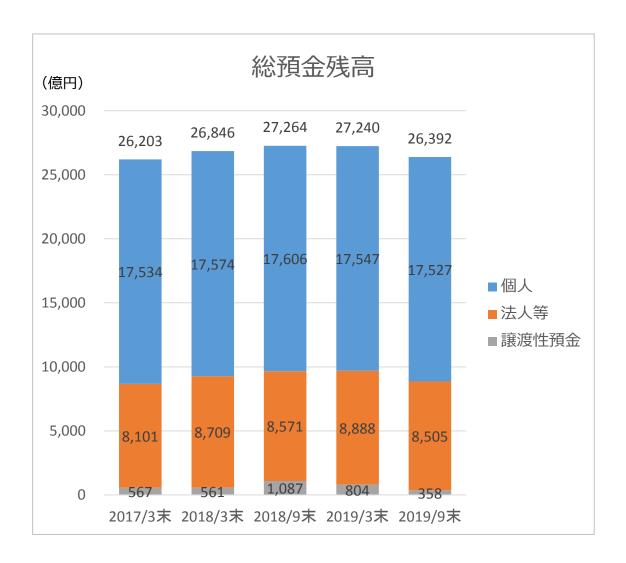
2019年度中間期の有価証券関係損益は、株式等関係損益は減少しましたが、債 券関係損益が前年同期の損失から大幅に改善したことにより、前年同期比4億 円増加の11億円となりました。

- *債券関係損益=売却益+償還益-売却損-償還損-償却
- *株式等関係損益=売却益-売却損-償却

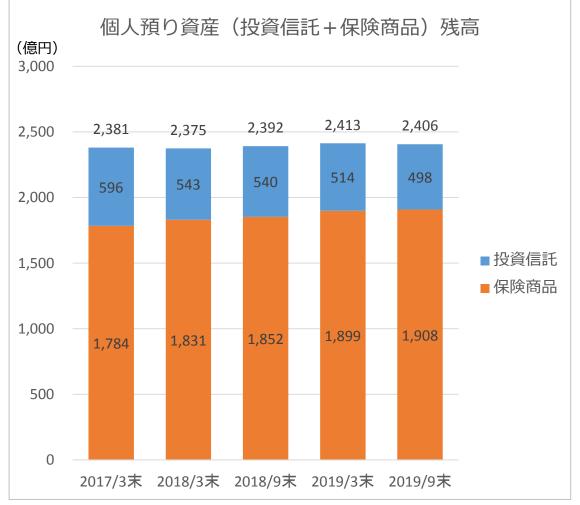


7. 総預金及び個人預り資産残高

2019年9月末の総預金 (譲渡性預金を含む) は、個人預金・法人等預金・ 譲渡性預金がそれぞれ減少し、 前年同期末比872億円減少の2兆6,392億円 となりました。前年度末比では848億円減少しております。



2019年9月末の個人預り資産(投資信託+保険商品)は、お客さまの多様な資 金運用ニーズに対応しました結果、投資信託は減少しましたが保険商品(個人 年金保険等)が増加し、前年同期末比14億円増加の2,406億円となりました。 前年度末比では7億円減少しております。

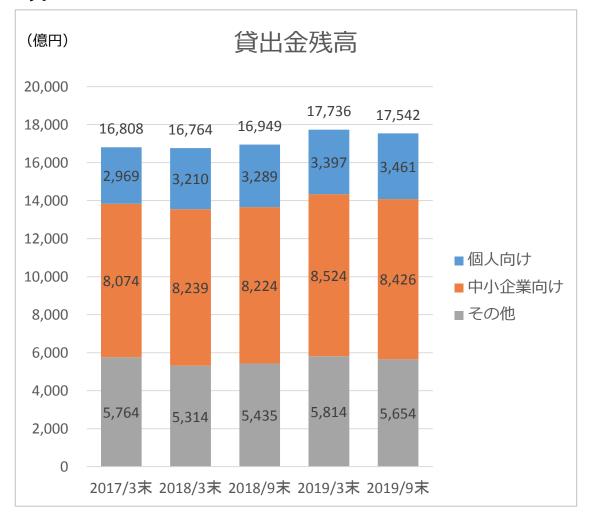


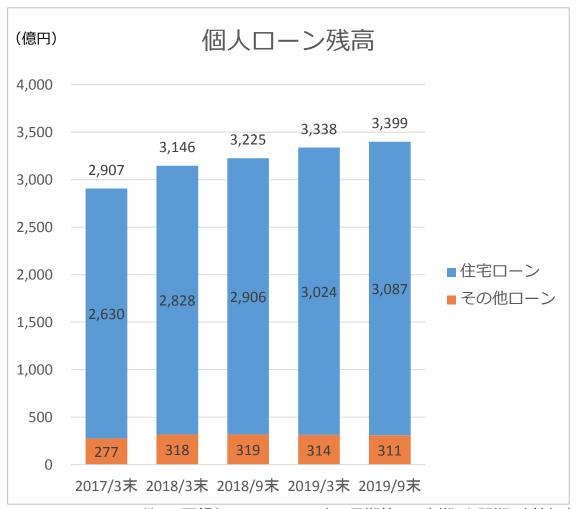
(株)四国銀行(8387)2020年3月期第2四半期(中間期)決算短信 10

8. 貸出金残高及び個人ローン残高

2019年9月末の貸出金は、中小企業向け・個人向け融資を積極的に推進しました結果、個人向け・中小企業向け・その他がそれぞれ増加し、前年同期末比593億円 増加の1兆7,542億円となりました。前年度末比では194億円減少しております。

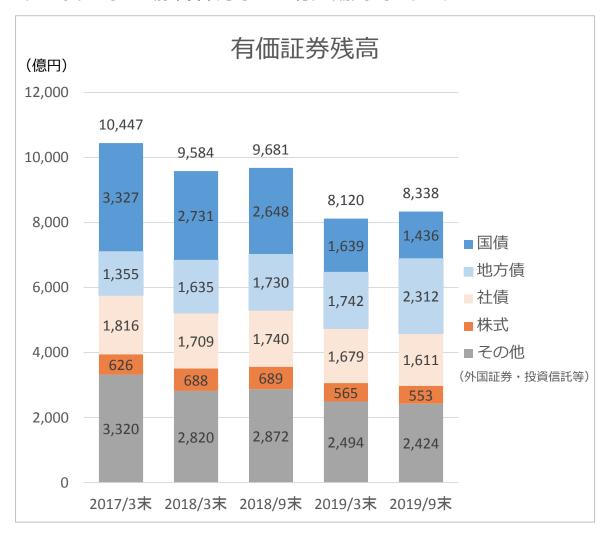
個人ローンは、四国4県に拠点を置くローンプラザを中心に推進し、前年同期末比174億円増加の3,399億円となりました。前年度末比では61億円増加しておりま す。



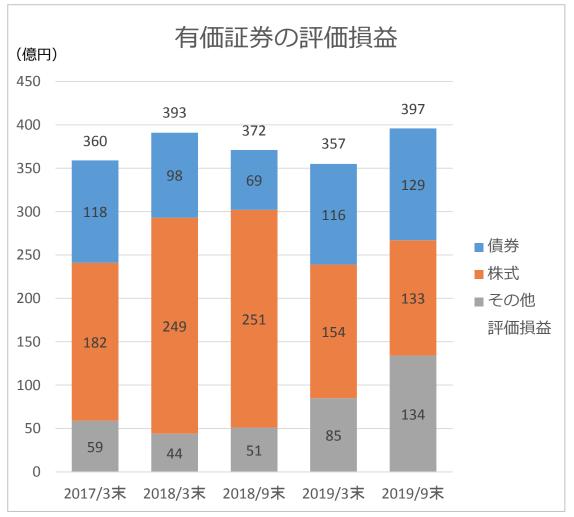


9. 有価証券残高・評価損益

2019年9月末の有価証券残高は、マイナス金利政策の継続による厳しい投資 環境のなか、再投資の抑制等により、前年同期末比1,343億円減少の8,338億 円となりました。前年度末比では218億円増加しております。

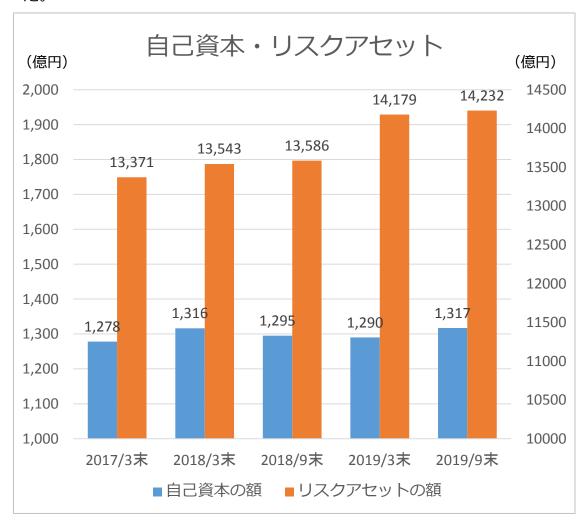


2019年9月末の有価証券の評価損益(含み損益に相当)は、株式の評価益 は減少しましたが債券・その他の評価益が増加し、前年同期末比25億円増 加の397億円となりました。前年度末比では40億円増加しております。

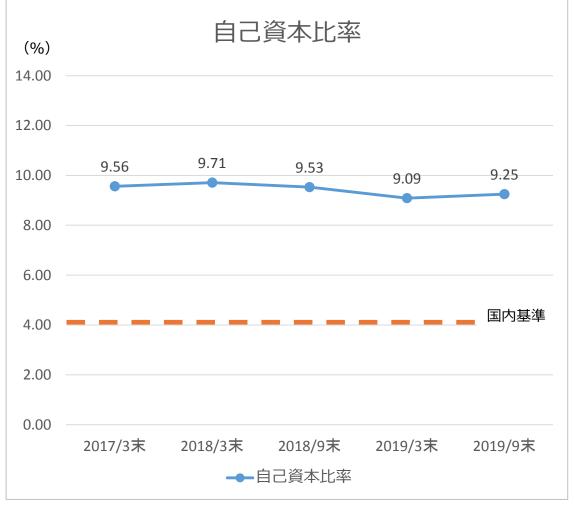


10. 自己資本比率

2019年9月末の自己資本の額は、利益剰余金の増加等により、前年度末比 27億円増加の1,317億円となりました。また、リスクアセットの額は、有 価証券の増加等により、前年度末比53億円増加の1兆4,232億円となりまし た。



自己資本比率は、左記要因により、前年度末比0.16ポイント上昇し9.25%と なりました。国内基準行に求められる4%以上の基準を上回っております。



(株)四国銀行(8387)2020年3月期第2四半期(中間期)決算短信 13

11. 不良債権の状況

2019年9月末の金融再生法に基づく開示不良債権の総額は、貸出先の 経営改善支援に努めましたこと等から、前年度末比7億円減少の382 億円となりました。

*不良債権総額=破産更生債権及びこれらに準ずる債権+危険債権+要管理債権



金融再生法開示不良債権比率は、開示不良債権額が減少し、前年度末 比0.02ポイント低下の2.13%となりました。また、不良債権が貸倒 引当金や担保・保証によりカバーされている割合を表す保全率は 84.7%と、引き続き十分な水準を確保しております。



(株)四国銀行(8387)2020年3月期第2四半期(中間期)決算短信 14

12. 2019年度業績予想

単体の2019年度通期業績は、中間期の業績が当初予想を上回りましたが、今後の市場環境や経済情勢の見通しが不透明であることから、現時点においては2019年 5月13日公表の予想数値を据え置き、経常収益393億円、経常利益51億円、当期純利益40億円を予想しております。

(単位:億円)

	2018年度実績	2019年度予想	実績比
経常収益	454	393	△ 61
業務粗利益	324	289	△ 35
資金利益	296	251	△ 45
役務取引等利益	39	38	△ 1
その他業務利益	△ 12	0	12
(うち国債等債券関係損益)	△ 8	5	13
経費	243	242	△ 1
実質業務純益	81	46	△ 35
実質与信関係費用	4	2	△ 2
経常利益	95	51	△ 44
当期純利益	63	40	△ 23

13.2019年度の取組み(4月~9月)

お客さまへの取組み

- 教育機関寄付型私募債「学び応援債~未来への絆~」の引受件数が100件を突破(5月)
- ▶ 法人オーナー・経営者等の次世代への円滑な事業承継をサポートするため、「事業承継セミナー」を開催(7月)
- お客さまの資産形成を支援するため「コツコツ&ワクワクよくばり新時代キャンペーン」実施(7月~2020年1月)
- ▶ お客さまの東南アジアを中心とした海外展開を支援するため、高知県シンガポール事務所に行員を派遣(7月)
- ▶ 株式会社SBI証券とインターネットを通じた金融商品仲介サービスを開始(8月)
- ▶ その他、四国アライアンス4行共同で各種セミナー開催(次ページ「四国アライアンスの取組み」参照)

地方創生への取組み

- 若手経営者、後継者等を対象とした第6期「四銀経営塾」を開講(塾生22名、第5期までの卒業生121名)
- ▶ クラウドファンディングを活用して、地元の老舗料亭などを支援(5月、7月)
- 小学生を対象にくしぎん>お金のセミナー(7月)開催
- ▶ 子供たちに社会の仕組みに関心を持ってもらうため、仮想のまち「とさっ子タウン」に、「とさっ子銀行」を出店(8月)
- 【高知県観光活性化ファンド】投資先である株式会社ものべみらいへ2人目の行員を派遣し、地域経済活性化を積極支援(8月)
- 【しぎん地域活性化ファンド】を活用して老舗観光ホテルの事業承継を支援(9月)

デジタルを活用したコンサルティングの強化

- ▶ 四国アライアンス共同で、AIを活用したビジネスマッチングの実証実験を開始(6月)
- ▶ フィンクロス・パートナーシップ参加行と協働で、金融商品の購入を希望されるお客さまニーズの把握や、資産形成に関する情報提 供強化を目的に、AIを活用した金融商品レコメンドシステムを、開発(8月、導入は2020年1月)
- フィンクロス・パートナーシップに、きらぼし銀行が参加し8行連携体制に(9月)

四国アライアンスの取組み

四国の地方銀行4行(当行、阿波銀行、百十四銀行、伊予銀行)による「四国アライアンス」では、 今年度においても四国創生に向けた様々な施策に取り組んでいます。 *件数・金額は9月末現在



<四国アライアンスキャピタル株式会社の活用>

4行出資のファンド運営会社「四国アライアンスキャピタル株式会 社」は、運営するファンドにおいて、これまで 16件・38億円 の 投資がなされるなど、お客さまの事業承継・成長、再生支援等に取 り組んでいます。

<運営ファンド>

しこく中小企業 支援ファンド (企業再生)

しこく創生ファンド (事業承継・成長等)

しこくエネルギー ファンド (新エネルギー)

16件・38億円の投資実行

くビジネスマッチングの活性化>

4行のネットワークを活かして、お客さま同士をつなぐビジネス マッチングに積極的に取り組み、紹介件数・成約件数とも順調に増 加しています。

紹介件数:2,992件

成約件数 : 850件

精度の高い情報提供により成約率向上を目指します

<その他の取組み>

- 「カードで巡る!おトクな四国キャンペーン」実施(4月~9月)
- 「産業振興セミナー 〜ITを活用した生産性向上〜」開催(5月)
- 「VISIT JAPAN Travel Mart 2019 -EAST ASIA-」へのブース出展(6月)
- ▶ 4行シンクタンクによる「新時代における遍路受入態勢のあり方 ~遍路宿泊施設の現状・課題等調査~Ⅰ報告書発行(6月)
- 「BCP策定セミナー」開催(7月)
- ▶ 合同研修会(次世代リーダー・女性リーダー)開催(7月~)
- 「インドネシア ビジネスマッチングセミナー&相談会! 開催(8月)

「四国地区 ハイウェイ大商談会」開催(7月)

- ・NEXCO西日本と連携し、四国及び 近隣のサービスエリアを運営するテナ ント22社と販路拡大したいお客さま 73社にご参加いただきました。
- ・商談会により、延べ37件の商談成約 につながり、お客さまの販路拡大支援 に取り組むことができました。

